

### 主な内容

- ◆議案審議 1・2・7面
- ◆陳情・意見書 3面
- ◆一般質問 4・5・6・7面
- ◆議会の動向 5面
- ◆審議結果一覧表 8面
- ◆9月定例会日程 8面

## 6月定例会

# 公民館などの公共施設 使用料を見直しへ

平成29年6月定例会は、6月8日から6月28日までの21日間の会期で開催されました。  
この定例会では、条例の制定・一部改正、工事請負契約の締結など市長提出議案等35件(うち、報告11件、諮問3件、陳情5件)のほか、議提議案4件、委員提出議案1件を審議しました。



「夏の元気花ヒマワリ」青空に向かって元気に咲き誇っています(撮影者・栗原正行さん)

## 議案審議

(議案審議は2面・7面にも掲載)

### 市内33施設の使用料を改定し 平均約55%の値上げ

議案第26号 秦野市公共施設使用料の適正化に係る関係条例の整備に関する条例を制定することについて

#### ▼要旨

人口減少と市民の高齢化が進む中で、公共施設サービスを次世代に重い負担を残すことなく持続可能なものとし、公共施設の老朽化対策の推進に資するため、33施設の使用料を引き上げ、または新たな

に有料化するとともに、子どもと年齢満70歳以上の人を対象とする無料化の一部導入や使用時間区分の見直しなど、14条例を改正するもの。

なお、平成29年10月1日以降に使用を申請(窓口やインターネットによる仮申請を含む。)する場合から適用とする。  
▼付託委員会  
総務常任委員会

### 「水とみどり」を守り育てていく取り組みを さらに前進させる決議を賛成全員で可決

議提議案第4号 東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けて水とみどりを守り育てていく取り組みを推進する決議について

#### ▼要旨

本市には、平成28年、守り育てていく宣言を決議した全国に誇る水とみどりがある。このかけがえのない自然環境は、先人が懸命に守り育ててきたものであり、我々には次の世代に引き継いでいく使命がある。32年度の新東名高速道路開通により、利便性が向上すると引き換えに失われる自然は、先人に倣い復活させなくてはなら



「水とみどり」を次世代へ

ない。本市議会は、「水とみどり」を守り育てていくことの宣言に関する決議」をさらに前進させるた

#### 2面に主な質疑・要望を掲載



持続可能な公共施設サービスを(写真は本町公民館)

め、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を絶好の機会にとらえ、市民の誇りである水とみどりを守り育てていく取り組みについて、一層推進することを決議するもの。  
▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)

### 永年勤続議員表彰



木村眞澄議員

5月24日(水)に全国市議会議長会定期総会が開催され、木村眞澄議員が勤続15年の表彰を受けました。

○木村眞澄議員  
昭和25年生まれ。当選5回。無所属。文教福祉常任委員会委員長、決算特別委員会委員長などを歴任。市内下大槻在住

### ● 議会を傍聴してみませんか ●

市議会では、秦野をより暮らしやすいまちにするため、予算や条例をはじめ、さまざまな重要案件を議論し、決定しています。

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。本会議は、当日、本庁舎5階の傍聴席入り口まで、また委員会は、当日、本庁舎4階議会事務局までお越しください。

皆さんの選んだ議員が交わっている議論を、ぜひお聴きください。



# 議案審議

(議案審議は1面・7面にも掲載)

**議案第26号 秦野市公共施設使用料の適正化に係る関係条例の整備に関する条例を制定することについて**

## ▼委員会で主な質疑・要望

**問** 公共施設の利用者負担の適正化に関する方針を定めてから約2年半が経過しているが、これまでの市民周知はどのようなか。

**答** 公共施設フォーラムや地区別市政懇談会、各種会議で説明して見直しの必要性について理解を求めた。また、広報はだのに合計9回記事を掲載するとともに、各公共施設へ改定案のポスターを掲示するなど、周知に努めた。

**問** これまで提出された公共施設使用料を現行どおり維持することを求める陳情は、本市の財政が健全であると自ら認めていることを理由に、使用料の見直しが必要ないことを訴えているが、この健全財政に対する考え方はどのようなか。

**答** 平成27年度決算の財政の健全化を示す4つの指標では、本市は健全財政にあるといえる。しかし、財政力指数や市民1人あたりの市税負担額が、県内他市と比較すると下位に位置し、財源に余裕がない状況は明らかである。今後も健全財政を維持していくためには、的確な財政見通しのもと、財政の悪化を招く前に先手を打つことが必要である。

**問** 新たに結成された福祉団体などが使用する際の減免の取り扱いがどのようなか。

**答** 団体使用については、事前の団体登録により活動内容を把握しているが、使用する際には、申請書に具体的な活動を記載するため、それが減免の基準に該当するかどうか判断する。

**要望** 減免基準に該当する団体からの申請については、早期に判断し、活動の機会を広げてほしい。

**要望** 公民館を使用して多額の会費を徴収する団体などに十分注意してもらいたい。

**問** 公民館は生涯学習の場であり、社会教育法に基づいた施設である。値上げをすれば利用率が下がり、社会教育法の理念が果たせないと考えられるか。

**答** これからの人口減少社会、超高齢社会の中で、公民館を維持していくためには、貸館の利用者には応分の負担をしていただくという原則の中で、他の公共施設と同じ位置づけで対応すべきと考えられる。

**問** 使用料改定により、年間約7千万円の増収を見込んでいるが、この改定案は引き上げ幅を抑えることやスポーツ施設などで70歳以上の無料化を取り入れることで、当初の見込みよりも歳入が減ることになる。公共施設再配置計画を進めていく上で、この改定案で歳

入不足を解消できるのか。

**答** 公共施設再配置計画では、平成62年までにハコモノの維持管理や運営に必要な費用は、生産年齢人口の減少などによる税収減から12.6億円不足すると見込んでいる。今回の使用料改定の効果が62年まで続くとしても、総額は約23億円であり、歳入不足は解消できない。さらなる歳入確保、歳出削減策を総合的に講じていく必要があると考えている。

**要望** 公共施設を取り巻く環境はさまざま面で厳しさを増していると考えられるが、できるだけ良好な状態で公共施設を次の世代に引き継げるよう努力してほしい。

**▼本会議での反対討論**  
市民に負担を求める前に法令遵守や低未利用地の売却など、歳入確保の努力を進めることを優先すべきであるため、認められない。

**▼本会議での賛成討論**  
次の世代へ重い負担を引き継がないよう努力するのは我々の責任であり、その中で高齢者の負担軽減策を明記したことは評価する。常に改善の余地があるか、謙虚な姿勢で進めてほしい。

**▼採決の結果**  
委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

## 鶴巻温泉駅の利便性向上を図るためエレベーター・エスカレーターを設置へ

**議案第30号 工事請負契約の締結について**

### ▼要旨

平成29年5月23日に仮契約した鶴巻温泉駅南口周辺東道立体横断施設(昇降機)整備工事について請負契約を締結するもの。

本工事は、現在施工中の鶴巻温泉駅南口周辺東道立体横断施設の東側と西側にそれぞれエレベーターと上りエスカレーターを1基ずつ設置するもの。

**▼付託委員会**  
総務常任委員会

## 高性能の機能を備えた30級級はしご付消防自動車を購入

**議案第32号 動産の取得について**

### ▼要旨

消防署本署配置のはしご付消防自動車の老朽化に伴い、より高性能な車両を購入するもの。

**▼付託委員会**  
総務常任委員会

### ▼主な質疑

**問** 今回購入する30級級はしご付消防自動車は、前回購入した金額と比較すると約1億円増額しているが、その理由はどのようなか。

**答** はしごの先端に固定するバスケットにカメラと放水銃を備えており、火災時に火室内の状況をカメラの映像で確認しながら消火活動することが可能となる。また、誤操作による人為的な事故を防止するための安全装置を備えているなど、高性能で安全性の高い車両であることに加え、製造に係る人件費や原材料費の高騰などとも要因である。

**▼本会議での賛成討論**  
はしご付消防自動車の出勤実績は24年間で3回しかないとのことであるが、人の命に関わる設備、機材であることから高くても購入すべきである。

**▼採決の結果**  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)



はしご付消防自動車からの放水の様子(写真は消防出初式)

## おおね公園多目的広場をサッカーなどが利用できる人工芝へ

**議案第29号 工事請負契約の締結について**

### ▼要旨

平成29年5月18日に仮契約したおおね公園多目的広場改修工事について、請負契約を締結するもの。

本工事は、おおね公園多目的広場をサッカー、フットサル、ラグビーができるよう人工芝で舗装するとともにソフトボールができるよう一部にクレー舗装をするもの。

**▼付託委員会**  
総務常任委員会

### ▼主な質疑

**問** おおね公園は、もともと水のはけ口がなく、アシなどが堆積し

## 対象路線を現地調査し市道を認定・変更する議案を可決

**議案第36号 市道の認定について**  
**議案第37号 市道の変更について**

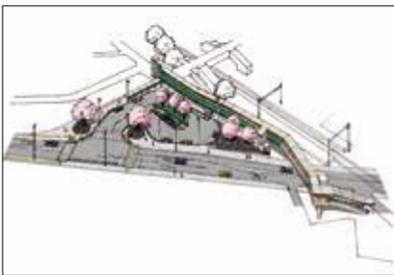
### ▼要旨

環境創出行為などにより移管された道路を市道に認定するとともに、道路整備事業などにより市道の終点と区域を変更するもの。

**▼付託委員会**  
環境都市常任委員会

**▼委員会で主な質疑**  
**問** 緊急車両などが進入できない環境創出行為などにより移管された道路を市道に認定するとともに、道路整備事業などにより市道の終点と区域を変更するもの。

**▼採決の結果**  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)



エレベーターなどにより利便性の向上を(イラストは鶴巻温泉駅南口駅前広場完成予想図)



人工芝へ生まれ変わる多目的広場



現地調査の様子

などの生活上支障がある道路を、市道349号線に区域変更することだが、今後の取り組みと地元住民への支援はどうか。

**答** 幅員4.5mに満たない個人が所有する道路用地などに住宅が建ち並んでいるため、建物の建て替えなどの際に後退を促すために、幅員4.5m以上が確保できた時点で買取し、整備を行っていく。また、建て替え支援などに係る補助制度の創設を検討している。

**問** 市道認定により新たな路線番号が振られるが、路線番号に統一性がない箇所もあり、非常にわかりにくい。路線番号の振り直しについての考えはどのようなか。

**答** 1級・2級市道は現行のままとし、それ以外の一般市道は、市民などにも分かりやすくするため、振り直しを検討している。

**▼本会議での反対討論**  
区域変更する市道349号線は幅員約1.2mの狭い道路であり、幅員4.5m以上の認定基準に達していないことなどから反対する。

**▼採決の結果**  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)

**▼採決の結果**  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成多数)

委員会 原案可決(賛成多数)  
本会議 原案可決(賛成多数)

# 陳情・意見書

## 子宮頸がん検診体制の刷新と ワクチン接種者全数の健康調査を

**平29陳情第5号 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種の中止と検診体制の刷新、接種者全数健康調査を国に対して強く求める意見書提出に関する陳情**

▼**願 意**  
子宮頸がん予防ワクチン接種と副反応の因果関係の証明は難しく、多くの女性が抱えきれないほどの困難に向き合い苦しんでいる。このため、ワクチンの安全性確認や接種後の症状発症の仕組みを解明し、治療体制が確立されるまで定期接種を中止し、予防効果の高い検診体制に刷新すること、接種者の全数健康調査を行い国民が安心して接種できる情報と環境を整えることを求めることについて国に意見書を提出してほしい。

▼**付託委員会**  
文教福祉常任委員会

▼**委員会で審査状況**  
委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼**本会議での賛成討論**  
子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼**採決の結果**  
委員会 趣旨採択(賛成全員)  
本会議 趣旨採択(賛成全員)

▼**委員会で審査状況**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成全員)



安心・安全なワクチン接種環境の整備を

委員会提出議案第1号 子宮頸がん検診体制の刷新とワクチン接種者全数健康調査を求める意見書の提出について

▼**要 旨**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成全員)

## 最低賃金の改定を早期に行い 経済の好循環を実現せよ

**平29陳情第7号 神奈川県最低賃金の改定等についての陳情**

▼**願 意**  
経済の好循環を確かなものにするため、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うとともに、働き方改革実行計画の取り組みと連動させた中小企業・小規模事業者の支援や価格転嫁を阻害する行為への監視体制などの強化を図ることについて、国に意見書を提出してほしい。

▼**付託委員会**  
環境都市常任委員会

▼**委員会で審査状況**  
委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼**本会議での賛成討論**  
子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼**採決の結果**  
委員会 趣旨採択(賛成全員)  
本会議 趣旨採択(賛成全員)

▼**委員会で審査状況**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼**委員会で審査状況**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼**要 旨**  
経済の好循環実現のため、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うとともに、働き方改革実行計画の取り組みと連動させた事業者支援や価格転嫁を阻害する行為への監視強化などを図ることについて、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成多数)



経済の好循環のため、最低賃金の改定を

## 教育を取り巻く環境のさらなる充実を

**平29陳情第4号 子供たちに豊かな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情**

▼**願 意**  
子どもや保護者のニーズに応じたきめ細やかな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、少人数学級の実現、学級規模の弾力化、教育予算の増額などについて、国に意見書を提出してほしい。

▼**採決の結果**  
本会議 採択(賛成全員)



きめ細やかな教育の実現を

▼**委員会で審査状況**  
委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼**本会議での賛成討論**  
子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼**採決の結果**  
委員会 趣旨採択(賛成全員)  
本会議 趣旨採択(賛成全員)

▼**委員会で審査状況**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成多数)

**開催しました 諏訪市・秦野市 姉妹都市議会議員交歓研修会**

7月18日(火)、19日(水)に、姉妹都市の長野県諏訪市と研修会を開催しました。18日は、「秦野名水の保全と利活用」、「地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み」について研修をし、19日は、表丹沢野外活動センターとJAはだの「じばさんず」を視察しました。

## 地域の実態を踏まえた 最低賃金制度の導入を

**平29陳情第3号 神奈川県最低賃金に関する陳情**

▼**願 意**  
神奈川県内同一賃金額である最低賃金制度を、各事業者の経営実態を踏まえたきめ細やかな制度とし、地域間における不均衡の是正を図るよう、国や県に意見書を提出してほしい。

▼**採決の結果**  
本会議 採択(賛成全員)

▼**委員会で審査状況**  
委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼**本会議での賛成討論**  
子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼**採決の結果**  
委員会 趣旨採択(賛成多数)  
本会議 不採択(賛成少数)

▼**委員会で審査状況**  
国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼**採決の結果**  
本会議 原案可決(賛成多数)

▼**委員会で審査状況**  
委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼**本会議での賛成討論**  
子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼**採決の結果**  
委員会 趣旨採択(賛成多数)  
本会議 不採択(賛成少数)

**議員有志による議場の多目的利用「映画上映と未来対話」を開催しました**

市民に開かれた議会を実現するため、有志の議員による議場の多目的利用が可能となりました。その第1弾として、7月29日(土)に議場で映画『商店街な人』の鑑賞と、同映画を制作したNPO法人ワップフィルムのサポートにより、街の未来を語り合う「未来対話」を行いました。

- 配付に留めた陳情**
- 平29陳情第6号 ほうらい会館等の公共施設の使用料を値上げしないことを求める陳情
  - 平29陳情第9号 公民館の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第10号 図書館の視聴覚室は図書館機能と一体のもので会議室化しないこと及び有料化しないことを求める陳情
  - 平29陳情第11号 文化会館の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第12号 宮永岳彦記念美術館市民ギャラリーの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第13号 表丹沢野外活動センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第14号 サンライフ鶴巻の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第15号 保健福祉センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第16号 広畑ふれあいプラザの使用料を現行どおり無料とすることを求める陳情
  - 平29陳情第17号 未広ふれあいセンターの使用料を現行どおり無料とすることを求める陳情
  - 平29陳情第18号 曲松児童センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第19号 中野健康センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第20号 里山ふれあいセンターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
  - 平29陳情第21号 有料公園施設の使用料を現行どおり維持することを求める陳情

# 一般質問



## 市民団体や社会企業の活動促進で 市民力・地域力の向上を

公明党 山下 博己

**一 活力あるまちづくりについて**  
 市民活動サポートセンターの稼働率が低く、※れんぎょうの登録団体数も減少傾向にある。今後、NPO法人を含む市民活動団体がより活性化するための新たな取り組みが必要と思うがどうか。

**答** サポートセンタースタッフの研修などを含め、NPO法人の相談窓口の充実を図るなど市民活動団体と連携をして、市民力を生かしたまちづくりのために努力する。

**問** 国の進める産業競争力強化法に基づき創業支援事業を行っているが、計画の内容から創業塾や創業セミナーなど、やる気を起こさせる支援や、大学、かなテカレツジ西部、地元商店会との連携を図るなど、より充実した内容にして進めるべきと考えるがどうか。

**答** 創業したい人の掘り起こしからやる気を起こさせる企画、創業に必要な知識の習得など、効果的な支援ができるよう実効性のあるより充実した計画にしていきたい。

**問** 人と人とのつながりの中で、支え合いと感謝の気持ちで働く人材を、どれだけその地域につくり出せるかが、市民力・地域力を生み出す重要な視点となる。それに

一般質問は、6月20日から22日までの3日間、18人の議員によって行われました。  
 質問は、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。  
 一般質問は、5面・6面・7面にも掲載されています。  
 (質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



## コンプライアンスより トラブルの処理が優先なのか

無所属 吉村 慶一

**一 職員の不祥事と※コンプライアンスについて**  
 懲戒処分した職員を出した鶴巻の下水道工事と、これに関連して同じ請負事業者の工事完成届の未提出が原因で、平成28年度事業でありながら、29年度予算の予備費で支払いをした南矢名の下水道工事の経過をみると、市に全ての非が

**問** 懲戒処分した職員を出した鶴巻の下水道工事と、これに関連して同じ請負事業者の工事完成届の未提出が原因で、平成28年度事業でありながら、29年度予算の予備費で支払いをした南矢名の下水道工事の経過をみると、市に全ての非が

**答** 上下水道局長らは職員の懲戒処分が出た直後に、請負事業者から完成届を受け取る際、事業者の主張が書かれた「確認書」に署名して持ち帰った。この間の対応は両副市長も関与し、コンプライアンスに配慮して行った。この件は監査委員会にも報告しており、今後監査委員会からの事情聴取の可能性もあると思うので、第三者の調査委員会設置は考えていない。

**意見** 「確認書」には、「トラブルによる完成検査遅延の事実、ま



充実した創業支援を (写真は秦野商工会議所)

## 災害時の初動体制に向けた 環境整備を



緑水クラブ 横溝 泰世

**一 危機管理体制・初動体制の充実等について**  
 今日、隣国において弾道ミサイル発射実験が繰り返して行われている。日本へ落下したときは危機管理基本マニュアルに基づき対応するが、施設ごとの避難誘導マニュアルの作成はどうか。また、有

**問** 今日、隣国において弾道ミサイル発射実験が繰り返して行われている。日本へ落下したときは危機管理基本マニュアルに基づき対応するが、施設ごとの避難誘導マニュアルの作成はどうか。また、有

**答** 施設ごとのマニュアルの整備や特定職員などを含めた避難誘導訓練の実施など、早急に指導する。

**問** 発災直後、地区配備隊員は速やかに参集して避難所を開設するが、市外在住職員が多いと初動体制に不安がある。市内在住職員を増やすことは災害時の体制強化のほか、市民税の歳入増、通勤手当の抑制などの効果も期待できるため、市内在住者については住居手当を優遇すべきと考えるがどうか。

**答** 職員が市内に在住したいと思ふような処遇を検討していきたい。

**二 ※インクルーシブ教育の推進について**  
 障害者差別解消法や障害者虐



包括的な支援教育体制を (写真は県立秦野養護学校末広校舎)

**事** 事への対応について、各施設に勤務する特定職員や委託業者へ周知することは必要と考えるがどうか。

**答** 施設ごとのマニュアルの整備や特定職員などを含めた避難誘導訓練の実施など、早急に指導する。

**問** 発災直後、地区配備隊員は速やかに参集して避難所を開設するが、市外在住職員が多いと初動体制に不安がある。市内在住職員を増やすことは災害時の体制強化のほか、市民税の歳入増、通勤手当の抑制などの効果も期待できるため、市内在住者については住居手当を優遇すべきと考えるがどうか。

**答** 職員が市内に在住したいと思ふような処遇を検討していきたい。

**二 ※インクルーシブ教育の推進について**  
 障害者差別解消法や障害者虐



緑水クラブ 高橋 文雄

## 楽しい家庭と職場で 生産性の向上を

**一 市職員の働き方改革について**  
 国は、一億総活躍社会の実現に向け、非正規雇用の処遇改善、長時間労働の是正など働き方改革に取り組んでいるが、本市の職員に対する取り組みはどのようか。

**答** 職員づくり基本方針により有給休暇取得の推進、時間外勤務の削減、相談体制の充実、※ゆう活やノーマル残業の実施、男性職員の育児休業取得に向けた環境づくりなど充実した家庭生活と効率的な働き方に向けて取り組んでいる。

**待** 待防止法が施行された環境を受け、ハンデの有無にかかわらず、包括的な支援教育体制を推進していくことが肝要と考えるがどうか。

**答** 県立秦野養護学校本校も含め、平成28年度に開設した末広校舎との連携を図り、子どもたちの健全な成長・生きる力を身につけていく教育の充実を推進していく。



コンプライアンスの確保を (写真は市役所本庁舎)

**要** 要望 生活優先のライフ・ワーク・バランスで安心して働ける職場づくりに取り組み、質的な改革で仕事の生産性を上げてほしい。

**二 スポーツ振興について**  
 初参加の住民総参加型スポーツイベント、チャレンジデーの結果はどのようか。

**答** 参加率47・5%で山口県宇部市を上回った。運動に親しむ契機づくりとして一定の成果があり、今後も健康・体力づくり教室などへの参加をPRしていきたい。

**問** 中日本高速道路株式会社に貸し付ける(仮称)羽根スポーツ広場用地の整備計画はどのようか。

**答** 平成33年度末まで貸し付け予定で進入路や駐車場などが整備されるが、市が必要ならばスポーツ広場として残すことができる。返却後の北側崖面の安全対策、財政面など次期総合計画で検討する。

**要** 要望 広場を早急に整備し、他の運動施設の安全管理の徹底を望む。



## 市民と一丸になり さらにごみ減量と資源物分別の徹底を

緑水クラブ 木村 眞澄

**一 ごみ減量の具体策について**  
 平成38年度からはだのクリーンセンター1施設によるごみ処理体制へ移行する。ごみ減量・資源物分別の必要性をどのように市民へ働きかけるのか。

**答** 自治会などの団体に説明を行い、理解と協力を求めている。

**要** 要望 廃棄物減量等推進員などのリーダーの存在を知らない地域もある。これらリーダーと連携し、家庭までルールを浸透させるよう働きかけてほしい。

**問** 分別回収事業を継続するため、回収した資源物の売却益を増加させる必要がある。現在は市況単価に乗じた金額で売却している。市



ふるさと納税活用により地域活性化を (写真は返礼品「ハウスみかん」)

**秦野市議会**  
**ホームページを**  
**ご覧ください!!**

市議会ホームページでは、本会議の生中継や録画中継、議会の取り組み、議員の名簿、会議の概要・結果、議会の日程など議会に関する各種情報を掲載しています。

特に、定例会開会中は、議案の審議結果などをタイムリーに情報提供できるよう心がけています。



はじめよう!夕方を楽しく活かす働き方。

**ゆう活**

ゆう活などの取り組みで生産性の向上を

**要** 要望 売却益増加など、行政としてあらゆる努力をし、歳入向上、財源確保に努めてほしい。

**二 ふるさと納税に関する総務省通知について**  
 通知による影響はどのようか。

**答** 金銭類似性や資産性が高いものを設定しないよう通知があった。

**要** 要望 本市の考え方を堅持し、今後も地元の雇用、地域の活性化につながるよう努力してほしい。

【用語解説】 ※れんぎょう…はだの市民活動団体連絡協議会のこと  
 ※インクルーシブ教育…初等教育や中等教育段階において、障害を持った子どもが大半の時間を通常学級で過ごし、必要な教育を受けること  
 ※コンプライアンス…企業や役所が法令や規則を遵守すること  
 ※ゆう活…日照時間が長い夏に、朝早い時間に仕事を始め、早めに仕事を終えることで明るい夕方の時間を有効活用し、生活を豊かにしようという取り組み



### 青少年の異文化交流の促進を

自民・新政 相原 學

#### 一 国際交流について

問 青少年が早い時期に海外へ目を向けることは、将来の進路に大きな影響を与える。本市では、米國パサデナ市と姉妹都市提携をしているが、交流状況はどのようなか。

答 市民親善訪問をはじめ、教職員の見学派遣、少年野球チームの訪問親善試合やホームステイ、スカイ交流などお互いの文化や生活習慣を体験し理解を深めている。

問 スカイ交流は便利であるが、時差の問題がある。実施状況とその回数はどうか。



### ドローンを活用した災害対策の充実に努めよ

自民・新政 高橋 照雄

#### 一 災害時における対応について

問 無人飛行機の一種であるドローンの活用は、大規模災害が発生した際に上空からの被災状況を把握する情報収集手段として大変有効なものと考えられているか。

答 大規模災害だけでなく、通常の災害においても大変有効な情報収集手段と考える。すでに導入をしている先進都市の状況などを調査研究し、検討したい。

要望 災害対応を目的にドローンを活用する動きが県内自治体で広がっている。災害時に備えた民間団体との協定締結と同時に過酷な災害現場での迅速な情報収集活動



早い時期から海外への視点を(写真はパサデナ市とのスカイ交流の様子)



### 定住化促進政策の推進を望む

民 政 会 大野 祐司

#### 一 定住化促進政策について

問 全ての入居が決定した定住化促進政策としての「ミライエ秦野」をどのように総括し、今後の指針として活用していくのか。また、定住化促進に向けてのグラウンドデザインはどのようなか。

答 「ミライエ秦野」は、市外26世帯、市内31世帯の入居が決定し、世帯構成は35歳以下の若年夫婦が19世帯、子育て世帯が38世帯となっている。入居者が退去される折には秦野市に引き続き定住していただけるよう努力したい。また、



### 子育て世代の切実な要求である待機児童解消を早期に実現せよ

日本共産党 佐藤 文昭

#### 一 福祉施策について

問 平成29年4月1日現在の待機児童数は49人、保育児童数は91人である。とくにゼロ歳児から2歳児の待機児童が多いが、待機児童解消への対策はどのようなか。

答 30年に4園の民間保育所が開園予定であり、定員が278人増加するため、これにより待機児童を解消できると考える。



被災情報把握のためドローン活用を

的な郷土料理に加え、秦野の特産品を使った創意あふれるオリジナルレシピを募集したアイデア料理コンテストなどに取り組んでいる。

問 第2次はだの生涯元気プランにある食の伝統技術や文化の継承については、秦野らしさが見える部分であり、地域における郷土料理、和食などの食文化を次の世代の子どもたちに継承していくことが必要であると考えますが、具体的な取り組みはどのようなか。

議会の動向	
5月 16日(火)	代表者会議 議員連絡会 議会運営委員会
6月 1日(木)	代表者会議 議案送付
2日(金)	代表者会議
6日(火)	議会運営委員会
8日(木)	市議会第2回定例会開会【傍聴者数 7人】
12日(月)	本会議(議案審議)【傍聴者数 4人】 予算特別委員会(初委員会)
14日(水)	代表者会議 議会運営委員会 総務常任委員会【傍聴者数 25人】
15日(木)	文教福祉常任委員会【傍聴者数 5人】 予算特別委員会(文教福祉分科会)
16日(金)	環境都市常任委員会【傍聴者数 1人】 予算特別委員会(環境都市分科会)
20日(火)	本会議(一般質問)【傍聴者数 10人】
21日(水)	本会議(一般質問)【傍聴者数 34人】
22日(木)	本会議(一般質問)【傍聴者数 23人】 代表者会議
23日(金)	追加議案送付
28日(水)	議会運営委員会 予算特別委員会【傍聴者数 9人】 市議会第2回定例会閉会【傍聴者数 11人】
29日(木)	議会運営委員会 議会編集委員会 秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第2回定例会【傍聴者数 1人】
7月 14日(金)	代表者会議 議員連絡会 議会運営委員会
8月 4日(金)	議会運営委員会 議会編集委員会



待機児童を早期に解消せよ(写真はひろはたこども園)

はだのこども館、曲松児童センター、未広ふれあいセンター、各公民館などを用意している。また、中高生が対象ではあるが、はだのこども館において試行的にチューターを配置しての学習指導や相談事業を実施する予定であるため状況を確認していきたい。



満室となった「ミライエ秦野」



### 教職員の多忙化の解消を

民 政 会 和田 厚行

#### 一 教職員の多忙化対策の推進に向けて

問 国の実態調査において、過労死ラインを越えている教職員が小学校で3割、中学校で6割という調査結果が出たが、本市においても勤務実態調査を行っているのか。また、今後この多忙化にどう対応していくのか。その一環として中学校の部活動について、検討組織を立ち上げてはどうか。

答 平成28年12月に市内小・中学校教職員を対象に勤務実態調査を実施した。国の調査結果も踏まえながら引き続き学校現場と一体となつて業務改善の取り組みを進めていく。また、国が、部活動指導員制度を見直したことから、今後の動向を注視し具体的な対応を進めていく。

二 よりよい教育環境について  
問 小・中学校のトイレを4年間で快適化することだが、温水洗浄便座を設置する考えはあるのか。



多忙な教職員の業務改善を(写真は市内中学校)

か。また、来賓なども利用する教職員用トイレにおいて、温水洗浄便座を設置する考えはあるのか。

答 家庭などにおいて、トイレの洋式化が進む中で、平成29年度からの4年間で実施する小・中学校トイレ快適化第二次整備事業で洋式化・快適化100%を目指すこととした。この事業の一部で温水洗浄便座の設置を検討している。教職員用は先行して設置を進めているが、未設置校は快適化に合わせて設置していく。

# 一般質問

(一般質問は4面・5面・7面にも掲載)



## 本市の外周部の生活環境を整備し 活力あるまちづくりに努めよ

**創案クラブ 谷 和雄**

※農業生産工程管理(GAP)の普及・拡大について

問 本市はGAP制度をどのように捉え、取り組んでいるか。

答 本市の農産物を世界にPRできるように、取得に向け準備する。

問 GAP認証取得後、更新時の費用支援などの考えはあるか。

答 国・県の支援に追加して、本市が支援する方法を検討する。

二 公共施設の利用促進について

問 表丹沢野外活動センターの風呂棟は、テント泊のキャンプ場利用者でも利用可能か。

答 旅館業法により、研修棟の宿泊者のみ利用可能となっている。

要望 施設の日帰り利用者にも、風呂棟を開放してほしい。

三 生活圏から見た暮らしやすいまちづくりについて

問 住民の生活行動と移動手段に着目した調査データはあるか。

答 パーソントリップ調査のデータがあり、自動車の利用が多い。特に本市外周部の道路整備が必要と思うが、市道19号線を整備する考えはどのようか。

答 地域と連携を図り、どのような整備ができるか検討していく。

問 本市外周部の学区区などで、既に形成されている集落への配慮はどのようか。

答 日常生活圏を確保し、今後も経済活動を担保していく。

要望 本市外周部の生活にも目を向け、広域行政に力を入れてほしい。



日帰り利用者にも風呂棟の開放を



## あと23年後、人口は14万8,001人へ

**民政会 阿蘇 佳一**

一 責任ある未来について

問 ①平成52年、人口13%減、高齢化率36・7%となる状況への対応は、本市は27年2月時点で936軒が空き家の疑いがあるが、対応は、②秦野赤十字病院の分娩休止から2年3カ月、再開のめどは八木病院の産婦人科開設、個人診療所の誘致は、③32年の「オリパラ」を契機に、秦野から次世代につながる森林づくりは、どうか。

答 ①社会保障関係費が毎年2億円から5億円増の中、選択と集中で対応。空き家の相談体制を充実

させ、活用促進に取り組む。②31年度をめぐり、最大限努力する。八木病院とは33年3月まで市有地を確保し、基本契約締結を目指す。個人診療所の誘致はしっかりと取り組む。③多くの関係者と植樹活動を推進し、世界へアピールする。

二 安全で快適なまちづくりについて

問 ①鶴巻温泉駅南口の公衆トイレやペDESTリアンデッキなどの設置、北口へのエレベーター、エスカレーターなどの設置は、②東海大駅入口交差点と、さなだ幼稚園前の交差点整備は、どうか。



## 古民家「緑水庵」のさらなる有効利用を

**民政会 八尋 伸二**

一 古民家を利用した地域活性化策について

問 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、※インバウンドの期待が高まるが、本市での展望はどのように考えているのか。

答 県観光協会や独立行政法人国

際観光振興機構などで構成する「神奈川県観光魅力創造協議会」の出前セミナーを平成29年2月に蓑毛地区で実施した。セミナーでは、留学生を含む4名の外国人が大日堂の見学、宝蓮寺での座禅体験、緑水庵でのそば打ちなど、里山を感じながら地元の人と交流することができた。



## さらなる生ごみ資源化施策の展開により、循環型社会形成の道筋を示せ

**自民・新政 風間 正子**

一 保育の充実に向けて

問 ①突発的に起こる子どもの保育所などへの送迎を支援する施策は、②保育士確保のための処遇改善は、どのようか。

答 ①ファミリー・サポート・センターで支援をしたい人と受けた人を結び付けているが、ニーズに対し支援者が不足しており、増加に努める。②平成27年度から継続年数に応じた加算があるが、上乗せ措置がされており、一人あたり平均6千円の増加が見込まれる。



市役所西庁舎前に設置された「キエーロ」

本市の実情を踏まえ、研究したい。

要望 保育士の子どもを優先して入園させ、保育士の雇用につながる事例もあり検討してほしい。

二 循環型社会の実現について

問 生ごみ分別収集の終了後も事業を継続すべきと考えるがどうか。

答 平成29年度で大型生ごみ処理機のリースが終了するため、議員有志から借り受けたキエーロも参考とし、それぞれの家庭に合った手法を選択してもらい、より費用対効果の高い事業を検討する。

問 近年の事業系ごみ増加に対し、業務用生ごみ処理機の設置補助を復活させる考えはないか。

答 業務用生ごみ処理機は故障リスクや維持費が高く、生成堆肥の利用先が確保しづらい事情もあるが、研究したい。

要望 小学校などに設置した生ごみ処理機を活用した堆肥化の取り組みは子どもにとって身近な食育の教材であり広くPRしてほしい。



現在の鶴巻温泉駅北口駅前広場の様子

答 ①南口の整備完了は平成30年3月末、北口は9月を予定。②年度内整備予定。東海大学近道商店街のエスカレーターも完成し、県道613号までの道路拡幅を進め、周辺への利便性の向上を図る。

要望 東海大学前駅から平塚駅へのバス路線開通を。



「緑水庵」を活用しインバウンドの取り込みを

今後、外国語表記の案内看板の整備や蓑毛地区で行った「おもてなし」の受入体制の強化、また、近隣市との広域観光周遊ルートの策定などを進めていきたい。

問 「緑水庵」を今以上に有効活用する考えはあるのか。

答 地元自治会を中心に、地域観光と活性化の拠点として活用することが、「緑水庵」を最も有効に利用できるものと考えており、そのための仕組みづくりを検討していきたい。

要望 市内には「緑水庵」を有料で借りて、有効活用したいという人もいる。それほど「緑水庵」は魅力ある建物である。

市として、どうしたら最少の投資で最大の効果を生むかを早期に検討してほしい。



## 全ての人が安心して使いやすい 福祉的避難場所の整備を

**公明党 横山 むらさき**

一 福祉的避難場所等について

問 大規模地震が想定される中、避難行動要支援者だけでなく、多くの被災者が災害弱者といわれる要配慮者となる可能性があるが、広域避難所の福祉的対応、※スフィア基準をもとにした収容人数の見直しが必要ではないか。

答 要配慮者への対応は、避難所運営委員会に要配慮者支援班を配置し、各避難所に専用スペースを設けるが、先進自治体を参考に運営方法を検討したい。また、地域防災計画の見直しの際には、スフィア基準に近づくように検討する。

二 防災キャンプについて

問 情報化社会で育つ子どもたちは、野外活動の経験が少ない。不便を体験する防災キャンプの実施は可能か。

答 テント生活の体験など、野外での生活体験は重要であり、防災意識の高揚を図り生きる力を育めるような事業展開をしたい。

三 八重桜の文化継承について

問 全国に誇る千村地区の食用八重桜は、花の摘み手の高齢化で後継者不足が深刻と聞か、実態や支援はどのようか。また、オリンピック・パラリンピックに向け、農福連携で加工品を作り、世界に桜の食文化をPRしてはどうか。

答 摘み手や加工従事者も高齢化しており、実態調査などとともに技術伝承を学ぶ機会を検討していく。また、状況が整えば農福連携も検討課題の一つとなる。

## 閲覧できます 政務活動費の「使い道」

市民の代表である議員の調査研究活動は欠かせないものとなっています。政務活動費は、議員の議会活動の一助とするため、調査研究活動などに対して使用できます。市議会では政務活動費に関する収支報告書や領収書の写しを公開しており、市議会ホームページや市役所4階閲覧コーナーで誰でも気軽に閲覧することができます。



領収書の写しなどが閲覧できます

## 会議録の検索・閲覧

市議会のホームページから本会議での一般質問、議案審議をはじめ、常任委員会や特別委員会の会議録を検索・閲覧することができます。議会だよりでは、紙面の都合上、一般質問や議案審議などの要旨しか掲載できませんが、会議録検索システムでは、発言の全てを検索・閲覧することができますので、ぜひご利用ください。(6月定例会の会議録は、8月下旬からご覧いただけます。)

用語解説 ※農業生産工程管理(GAP)…関係法令に即し、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検、評価を持続的に行う改善活動のこと  
 ※インバウンド…外国人が自国以外を訪れる旅行のこと  
 ※スフィア基準…災害や紛争などの被災者全てに対する人道支援活動を行う各種機関や個人が、被災当事者であるという意識を持って現場で守るべき最低限の基準



### 弾道ミサイルの落下を想定した 住民避難訓練を実施せよ

自民・新政 小菅 基司  
一 親しみのある公共サインについて

問 まほろば大橋などの大きい交差点で案内標識がない箇所があるが、案内標識は目的地まで案内するための目印として利用されていることから、新たに設置すべきと考えるがどうか。

答 観光客などが安心して移動する上でも案内標識は有効な道路施設であり、地元や警察などと協議し、順次、主要な箇所に設置できるように検討していく。

要望 市民公募で命名された水無川通り、運動公園通り、文化会館通りの認知度が低いため、市民に広く周知するよう努めてほしい。

二 北朝鮮の弾道ミサイルについて  
問 弾道ミサイルの情報については、防災行政無線を活用したJアラートや緊急速報メールで得られるとのことであるが、弾道ミサイル



### オリンピック・パラリンピックに向けて みどりを増やす活動の推進を

創奏クラブ 加藤 剛

一 防犯対策について  
問 市内の振り込め詐欺の被害額は多い。全国の自治体では通話録音警告機を貸し出し、効果を上げているが、本市での導入はどうか。

二 教育施策について

問 新東名高速道路建設に伴い市内で埋蔵文化財の発掘が行われている。学校教育への活用はどうか。



市民公募で命名された道路の周知を(写真は運動公園通り)

答 本市単独で弾道ミサイルに関する住民避難訓練の実施は予定していないが、今後のテロの情勢などを踏まえ、神奈川県、近隣自治体、関係機関などと連携を図る中で検討していきたい。

要望 すでに訓練を実施している自治体もあることから、学校での実施を含め、ぜひ検討してほしい。また、弾道ミサイル落下時に備えたりーフレットを各家庭に配布するように、努めてほしい。



本市が誇るみどりを増やす活動を

見学なども随時受け入れ、古墳や出土遺物の説明を行っている。

要望 千年以上の時を超え、やつと空気に触れた遺跡から伝わるものは、整備した遺跡から伝わるものがある。授業で、秦野の子どもならではの恩恵を享受してほしい。

三 オリピック・パラリンピック  
問 市内の振り込め詐欺の被害額は多い。全国の自治体では通話録音警告機を貸し出し、効果を上げているが、本市での導入はどうか。



### 就学援助制度の新入学児童生徒 学用品費などを増額し入学前に支給せよ

日本共産党 露木 順三  
一 教育施策について

問 文部科学省は平成29年3月31日に、新入学に必要な学用品など入学準備金を増額し、支給は入学前も可能とする通知を出した。本市は7月に支給しているが、入学前の早い時期にすべきだがどうか。

答 中学校入学前の支給は適正に対応し、小学校入学前は課題が多いため各市の状況を研究する。また、支給額は、ほぼ倍額に改正された国の基準単価とした。

二 入札、契約、検査制度について  
問 入札工事で工期内に完成届が未提出にも関わらず「事業者が完成届を未提出のため完成検査が受けられない」という事はない」とする確認書を工事請負事業者が作成し、本市職員が署名している。このような不適切な行為をする事業者に入札の参加停止及び指名停止等措置基準における停止措置などの罰則を課すべきだがどうか。

答 完成届は提出されていないが、工事が遅延したということではないと判断し、罰則を課していない。

意見 公平・公正な入札・契約事務運営委員会を早急に開催し、事業者への対応を検討すべきである。

三 渋沢丘陵霊園建設について  
問 平成26年12月27日本市作成の

クへの取り組みについて  
問 オリパラの開催と新東名高速道路開通を契機に、本市が誇るみどりを増やす活動を推進すべきと考えられるがどうか。

答 市民や企業と連携を図り、新東名高速道路周辺の森林復元を進め、また、植樹活動を支援する。意見 市内各地での活動が予想され、それぞれの方向性が懸け離れないよう、考え方の大きな柱となる意思表明が必要と考える。



入学準備金の早期支給を(写真は教育庁舎)

霊園地55筆の土地権利者一覧表に一筆だけ所有者でなく仮登記者が記載されているが虚偽ではないか。

答 所有者であるかのような記載は疑念を招いたと認識している。

### 教育長に内田氏を選任 固定資産評価審査委員会 人権擁護委員に込山氏・下山氏・米山氏を推薦

議案第40号 秦野市教育委員会教育長の選任について

▼要旨  
内田賢司教育長の教育委員としての任期が平成29年8月31日に満了するにあたり、新教育委員会制度の下での教育長として同氏を選任するもの。

▼採決の結果  
内田氏は昭和26年生まれ。教育長、市長室長などを歴任。教育  
本会議 同 意(賛成多数)



内田賢司教育長

議案第41号 秦野市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

▼要旨  
欠員となっている1名について新たに染谷武彦氏を選任するもの。染谷氏は昭和26年生まれ。神奈

### 議案審議 (1面・2面にも掲載)

### 沼代児童館を 沼代自治会連合会へ無償譲渡

議案第28号 秦野市立児童館条例の一部を改正することについて

議案第31号 不動産(建物)の無償譲渡について  
▼要旨  
沼代児童館を「公の施設」としての位置付けを廃止した後、その建物を、沼代自治会連合会に自治会館として無償譲渡するもの。

▼付託委員会  
文教福祉常任委員会  
▼委員会での主な質疑・要望  
沼代児童館を「公の施設」としての位置付けを廃止した後、その建物を、沼代自治会連合会に自治会館として無償譲渡するもの。

問 法人格を取得した沼代自治会連合会に、沼代児童館を無償譲渡することだが、児童館機能はどのように担保するのか。  
答 児童館スペースとして、1階を遊戯室や図書室とし、市からも児童厚生員を派遣するなど、子どもたちを見守る体制を維持する。

問 公共施設再配置計画に基づき児童館を地域に無償譲渡する方針が示されているが、児童館の役割を生かしながら地域の拠点施設と  
米山和久委員の任期が平成29年9月30日に満了することに伴い、込山委員、下山委員、米山委員を再び推薦するもの。  
込山氏は、昭和23年生まれ。平成20年から現職。  
下山氏は、昭和23年生まれ。平成23年から現職。  
米山氏は、昭和27年生まれ。平成26年から現職。

▼採決の結果  
本会議 適当である旨答申(賛成全員)

### はだのこども館へ図書無人貸出・返却機を 移設する経費などの補正予算を賛成全員で可決

議案第38号 平成29年度秦野市一般会計補正予算(第1号)を定めることについて

▼要旨  
歳入歳出それぞれ3億6419万円を追加するもの。  
▼付託委員会  
予算特別委員会  
▼委員会での主な質疑  
(文教福祉分科会)  
こども館管理運営費について  
問 図書無人貸出・返却機をはだ

のこども館学習室へ移設することだが、その理由はどのようなことか。  
答 蔵書全てをICタグで管理するため多くの予算が必要であったが、企業からの寄附により、問題集などを多くそろえることが可能となったため移設することにした。

して活用を図ることができるのか。  
答 高齢者サロン活動の拠点や自治会の事務所など地域拠点施設として活用し、また、無償譲渡を受けた後、増築を予定しているため、さらなる児童館機能の強化を図ることも期待できる。

▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)



児童館機能と両立を(写真は沼代児童館)

とのことだが概要はどのようなことか。  
答 従来のカードにスタンプを印字する方式と比べ処理速度が早く、買い物の際に1ポイント1円として使用できるなど、消費者の利便性向上が図られるものである。

▼本会議での賛成討論  
学習環境を整備することは、はだのこども館だけでなく、市内各所でも実施すべきと考え、補正予算全体としては賛成する。

▼採決の結果  
本会議 原案可決(賛成全員)

〈6月定例会の審議結果一覧表〉

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

Table with columns for item number, title, decision result, and member votes. Includes items 26-41 and various inquiries.

報告案件 (11件)

- List of 11 report cases including budgetary and administrative matters.

9月定例会日程

- Detailed agenda for the September regular session, including dates, times, and topics.

※会議の日程・時刻は変更することがあります。
※9月定例会で審査する請願・陳情の提出期限は8月25日(金)午後5時までです。
※議員への議案送付は、8月29日(火)の予定です。
※平成29年9月定例会で予算決算常任委員会を設置する議案が提出される予定です。

編集後記

毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。6月定例会では、18人の議員による一般質問が3日間にわたって行われ、活発な質疑が行われました。今後も読みやすく、親しみやすい「議会だより」を引き続きお届けいたしますので、引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

